研作	修名:	実務研修											_
課目]名:(介護保険制度	の理念・現	状及びケア	マネジ	メント							
受	發講番号		受講班					氏名					
		項				受 講	前			受 講	後		
1	介護保 明できる	険制度の創設の背 る	景や基本理?	念について説	1	2 —0—	3 —0—	-4	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0	•
2		マジメントの導入の意 ついて説明できる。	意義と介護支	援専門員の	10	2 —0—	3 —0—	4 0	1	2 —0—	3	4 —0	
3		括ケアシステムがえ いて説明できる。	求められる背景	景や基本理	1	2	3	4 —0	1	2	3	4 —0	
4		也域の地域包括ケブ を述べることができる		見状を把握す	1	2 -0	3 —0—	4 —0	1 ()	2	3 ()	4 —0	
(5)	介護サー 基本的	ービスの利用手続き な視点と概要)を述	き(要介護認)	定等に関する きる。	1 0—	2 —0—	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0	
6	居宅サー	ービス計画等の重要	要性を述べる	ことができる。	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	1 0—	2 —0—	3	4 —0	
7	保険給できる。	付及び給付管理等	の仕組みを返	<u> </u> たべることが	1 0—	2	3 —0	4 —0	1 0—	2 —0—	3	4 —0	
8	継続学とができ	習の必要性と、具体	本的な学習方	法を述べるこ	1 0—	2	3 —0	4 —0	1 0—	2 —0—	3 	4 —0	•
	;	※研修は自己評価と 【選択肢】	し、4段階評価 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね ⁻			『が小さい とんどでき			て記入して [・] 全くできない			_
砂	肝修訂	記録シート3			CC 0	2. 16.		- 140.	1. 2	±/(6/4/			
		項 目	V 3/// V //			内			7	 字			
1		Dケアマネジメント実 ことは何ですか	践を高めるた	:									
2	得たこと すか	を実践でどのように	活かせそうて	5									
3	本科目いく必要	に関連して、あなた きがあると考えること	が更に学んて は何ですか	5									
4	その他、	この科目で感じたる	ことは何ですカ),									

埘1		長務研修										
課目	1名: (2	自立支援のため	りのケアマ	ネジメントの	基本							
受	講番号		受講班					氏名				
		項目				受 講	前			受 講	後	
1	中立·公 できる。	:平なケアマネジメン	小の重要性に	こついて説明	10	2 —0	3 0_	4 0	1	2 —0—	3 0	4
2	運営基準できる。	隼に遵守したケアマ	ネジメントの	重要性を説明	10	2	3 0_	4 0	1	2	3 0	4
3	利用者に説明でき	本位の選択を支える きる	。 ケアマネジ:	メントの意義を	1	2	3 —0—	4 0	1	2	3 -0	4
4		の権利を尊重したケ も明できる。	アマネジメン	小の重要性に	10	2	3 —0—		1	2 —0—	3 _0	4
⑤	社会資源で説明で	原を活用したケアマ ごきる。	ネジメントの』	必要性につい	10		3 0_	4 0	1 ()	2 —0—	3 -0	4 —0
6	利用者のいて説明	の能力に応じたケア 月できる。	マネジメントの	の重要性につ	10	2 —0—	3 0_	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0
7	家族に対	対する支援の重要性	性について説	明できる。	10	2	3 0_	4 0	1 0—	2	3 —0—	4 —0
8	介護予 る。	坊ケアマネジメントの	考え方につ	ハて説明でき	10	2	3 0_	4 —0	1 0—	2 —0—	3 0	4-0
	>	────────────────────────────────────	、4段階評価 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね [.]			が小さい こんどで			て記入してく 全くできない		
研	修記	は録シート3			<u> </u>	2. 100	700 0	_				
		項目				内			7	———— 容		
1)ケアマネジメント実 こことは何ですか	践を高めるた	=								
2	得たこと すか	を実践でどのように	活かせそうて	3								
3		こ関連して、あなたが があると考えることに		3								
4	その他、	この科目で感じたこ	とは何ですが	51								

研作	<u> </u>	実務研修											
課目	名: 3	相談援助	の専門	散としての	基本姿勢	及び相	談援助	技術の	基礎				
受	講番号		1	受講班					氏名				
			項目				受請	斬			受 講	後	
1		助を行う職種 の違いについ			重との役割	1	2 —0	3 0	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0
2	相談援!	助を行う職種	重の基本姿	勢について	説明でき	1 0	2 —0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0	3 0	4 —0
3	相談援	助を行う上で	の留意点	について説り	明できる。	1 0——		3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0
4	利用者の明できる	を多面的に扱	足える視点	の重要性に	ついて説	1 0——		3	4 0	1 0—	2 —0—	3 	4 —0
(5)		助を行う上で :説明できる。		観視すること	上の重要性	1 0		3 0	4 0	1 0—	2 —0	3 -0	4 - 0
6						1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0
7						1	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 	4 0
8					•	1 0—	2 —0—	3	4 —0	1 0—	2 —0—	3 -0	4 0
	}	※研修は自己 【選‡		段階評価で、 . できる	数字が大き 3. 概ね ⁻			字が小さい とんどでき			て記入して 全くできない		
研	修訂	録シー				<u> </u>	2. 10	COUC CC			<u> </u>		
		項	目				Þ	3		7	容		
1)ケアマネジ とことは何でで		を高めるた									
2	得たこと すか	を実践でどの	のように活っ	かせそうで									
3		こ関連して、 があると考え											
4	その他、	この科目で	感じたことに	は何ですか									

研作	<u></u> 图	実務研修											
課目	1名: 4	人格の尊重及	び権利擁護	重並びに介記	雙支援:	専門員の	倫理						
受	講番号		受講班					氏名					
		項	1			受 講	前			受 講	後		Ì
1		掌厳を支える専門職 説明できる。	まとして求めら	れる姿勢に	10	2 —0	3	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 —0	•
2		務を順守した、ケア ヽて説明できる。	マネジメントの	意義·重要	10	2	3 	4 0	1 0—	2 —0—	3 0_	4 —0	
3		務において起こり得 の重要性について		原に対し向き	1	2	3	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	
4		の生活を守るための 説明できる。)制度の内容	や利用方法	1	2	3	4 0	1 ()—	2	3 —0—	4 —0	
⑤		を踏まえ、利用者本 ついて説明できる。	位のケアマス	ネジメントの重	1	2	3 _0_		1 0—	2 —0	3 0	4 —0	
6	チームな	rアを行う際の倫理	の必要性を判	削断できる。	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	
7		険制度で求められる 意義について説明で		ーズの代弁	1 0—	2	3 _0_	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	-4 0	
8				•	1	2 —0	3 0	-4 -0	1 0—	2 —0	3 -0	4 —0	•
	>	※研修は自己評価とし 【選択肢】	、4段階評価 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね ⁻		評価、数字 2. ほと	が小さい こんどでき	いほど低i きない		て記入して・ 全くできない			
研	修訂		(振り返	<u>[</u> 1)									
		項目				内			7	容			
1)ケアマネジメント実 ≿ことは何ですか	践を高めるた										
2	得たこと すか	を実践でどのように	活かせそうで	5									
3		こ関連して、あなた があると考えること		5									
4	その他、	この科目で感じたこ	ことは何ですだ),									

研修名:実務研修

課目名: ⑤利用者、多くの種類の専門職	戦等への	説明及	び合意						
受講番号 受講班					氏名				
項目			受 講	前			受 講	後	
① 介護支援専門員として行う説明の意義・目的について説明できる。	的·責任	1	2 0	3 -0	_4 0	1 0—	2 —0—	3 -0	4 0
② 利用者や家族に対し、理解度に配慮した説ことの重要性について説明できる。	明を行う	<u>1</u> 0——	2 0	3 _0		1 0——	2 —0—	3 0	
③ 多職種及び場面に応じた説明を行うことがで	できる。	1 0——	0	3 _0	4 0	1	2 —0—	3 0	4 —0
④ 説明から合意に向かうプロセスの重要性につ明できる。	ついて説	<u>1</u>	0	3 _0		1 0—	_2 0	3 —0—	
(5)		1 0——	0	3 _0		1 0—	2 —0—	3 0	4 O
6		1 0—	2 	3 _0	_4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 O
0		1 0	2 0	3 _0	-4 0	1 0	2 —0—	3 0	<u>4</u> —0
8	•	1 0—	2 0	3 _0	_4 0	1 0	2 —0—	3 0	<u>4</u> <u>0</u>
※研修は自己評価とし、4段階評価で、 【選択肢】 4. できる	数字が大き 3. 概ねで			が小さい んどでき			こ記入して ≧くできない		
研修記録シート2(振り返り	J)								
項目			内			2	<u> </u>		
① あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか									
② 得たことを実践でどのように活かせそうですか									
③ 本科目に関連して、あなたが更に学んで いく必要があると考えることは何ですか									
④ その他、この科目で感じたことは何ですか									

研修名:実務研修

課目	名: ⑥ケアマ	アネジメント	のプロセス	•								
受	講番号		受講班					氏名				
		項目				受 講	前			受 講	後	
1	ケアマネジメントできる。	プロセスの棹	構成と流れに	ついて説明	1	2 —0	3 0_	4 0	1 0—	2 0_	3 0	4 - 0
2	各プロセスの意	義と目的につ	ついて説明で	きる。	1 0	2 —0—	3 —0—		1 0—	_2 0	3 —0—	4 —0
3	介護サービス計る。	画書標準模	様式の考え方	を説明でき	1 0——	2 0	3 —0—		1 0—	2 —0—	3 —0—	4 - 0
4	ケアマネジメントる。	プロセスの슄	≧体像につい	て説明でき	1 0		3 —0		1 0—	2 —0—	3 —0	4 0
⑤					1	2 —0	3 _0_	4 0	1 0	2 0	3 0	4 -0
6					1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	
7					1 0—	2 —0—	3 0	-4 -0	1 0—	2 —0	3 —0—	4 O
8				•	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—		3 0	4 0
		自己評価とし 【選択肢】	、4段階評価 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね [:]			¤が小さい とんどでき			て記入して 全くできない		
研	修記録シ	/ −ト2	(振り返	ヹり)								
	Į	頁 目				内			7	———— 容		
1	あなたのケアマン めに得たことは f		践を高めるた	=								
2	得たことを実践すか	でどのように	活かせそうて	5								
3	本科目に関連しいく必要があると	て、あなた; :考えること!	が更に学んて は何ですか	3								
4	その他、この科目	目で感じたこ	ことは何ですが	jy								

研修名:実務研修

課目	1名: ⑦)-1ケア	マネジメ	ントに必	要な基	基礎知識	战及び技	技術「受付	け及び	相談立	立びに	契約」			
受	:講番号			受講班	Ŧ _					氏名					
			項目					受 講	前			受 請	後		
1	インテー	クの意義と	:目的に:	ついて説り	明できる。	0	1 0		3 0	4 0	1 0—	2 	3 0	4 —0	•
2		が相談と面 説明でき		面における	援助の	留意点	<u>1</u>	2	3 _0_		1	2 —0—	3 —0—	4 —0	
3	利用者がいて説明	及び家族と 月できる。	:の信頼]	関係の構築	築の重要	要性につ	1	2	3	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 —0	
4	契約行為できる。	為を行うに	あたっての	の留意事	項につい	いて説明	1	2	3	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 —0	
(5)		土組みが斥 いて説明で		本であるこ	ことの意	義と仕組	1	2	3 0	4 0	1	2	3 ()	4 —0	
6	利用者の 準備を実	D状況に合 ≷施できる	かた面接	という	な情報や	書類の	1 0	2 —0	3 _0_	-4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
7							10—	2 —0	3 _0_	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
8						•	1	2	3 _0_	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	•
	×	《研修は自 【選	 己評価とし 【択肢】	、4段階部 4. できる		数字が大き 3. 概ね [.]			が小さい こんどでき			て記入して 全くできなし			
研	修記	録シ										_,,			
		項	目					内			3	容			
1		ケアマネシ ことは何で		践を高め	るた										
2	得たこと すか	を実践でと	ごのように	活かせそ	うで										
3		こ関連して があると考													
	その他	この科目で	で感じたこ	とは何で	きか										

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名: 実務研修 課目名: ⑦-2ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「アセスメント及びニーズの把握の方法」

受	講番号 受講班				氏名				
	項目		受 講	前			受 講	後	
1	アセスメントの意義と目的について説明できる。	1 0—	2 —0	3 0	4 0	1 0—	2 —0	3 —0—	4 0
2	アセスメントにおける情報収集の項目や目的を説明できる。	<u>1</u> 0—	2 —0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0	3 —0—	4 0
3	アセスメントからニーズを導き出す思考過程を説明で きる。	1 0—	2 0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0	3 _0_	4 0
4	利用者・家族の意向の確認を実施できる。	1 0	2 0	3 —0		1 0—	2 —0	3 —0	4 0
⑤	状態の維持·改善·悪化の可能性を予測できる。	1 0—	2 0	3 —0		1 0—	2 —0	3 —0	4 0
6	利用者、家族から得た情報に基づく課題の抽出を実 施できる。	1 0—	2 0	3 —0	 0	1 0—	2 0	3 0	
7	利用者、家族の持っている力を把握できる。	1 0—	2 0	3 —0	 0	1 0—	2 	3 —0	4 —0
8	多職種による情報を関連づけたアセスメントを実施で きる。	1 0	2 0	3	-4 0	1 0—	2	3	4 0
9	利用者、家族のニーズの優先順位を判断できる。	1 0—	2 0	3 —0	4 —0	1 0—	2 	3 —0	4 —0
10	際アセスメントの重要性について説明できる	1	2	3	4 0	1	2	3	4 - 0

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(振り返り)

	項目	内容
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かせそうで すか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

研化	<u> </u>	ミ務研修												
課目	目名: ⑦)-3ケア	マネジメ	小に必要	な基礎知識	投及び技	:術「居写	セサー	ビス計	画等₫	D作成」			
受	講番号			受講班					氏名					
			項目				受 講	前			受 講	後		İ
1	居宅サーる。	ービス計画	の意義と	目的につい	て説明でき	1	2	3 —0—	4 0	1	2	3 -0	4 —0	•
2	居宅サーいて説明		等の様式	における記	載の目的につ	10	2	3 0_	4 0	1	2	3 0	4 —0	
3		家族の意 役定を実施		えた課題の	解決に向けた	10	2	3 —0	4 0	1	2 —0	3	4 —0	
4	居宅サ-	ービス計画	実施後の	生活の変化	とを予測でき	10	2	3 —0—	4 0	1	2 —0	3 -0	4 —0	
(5)				な社会資源 ることができ	原(インフォー きる。	1 0	2 —0—	3 —0	4 0	1 ()—	2 —0—	3 -0	4 —0	
6	生活目标	票に応じた	必要なサ	ービスを判	断できる。	1	2 -0	3 —0	-4 0	1 0—	2 —0	3 _0	4 —0	
7	生活目 る。	票を達成す	るための	期間の設定	を判断でき	1	2	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0	3 0	4 —0	
8		家族が合 他できる。	意できる	号宅サービ	ス計画書の作	1 0	2	3 0	4 —0	1 0—	2 —0	3	4 —0	
9		ービス計画 こついて説		サービス計	画の連動の ●	1	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3	4 —0	•
	*		己評価とし.	. 4段階評価 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね ⁻			が小さい とんどでき			て記入してく 全くできない			_
研	修記			振り返	1.70	<u> </u>								
		項	目				内			7	容			
1)ケアマネシ ことは何で		銭を高めるた	Ė									
2	得たこと すか	を実践でと	ごのように氵	舌かせそうで	~									
3		こ関連して があると考		「更に学んで に何ですか										
4	その他、	この科目 ⁻	で感じたこ	とは何ですが	by									

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

の扱う心	アとうんでは、これをしていたものよう。
研修名:	: 実務研修
課月名:	

受	講番号 受講班]		氏名				
	項 目		受 請	前			受 講	後	
1	サービス担当者会議の意義と目的について説明できる。	1 0—	2 —0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0
2	サービス利用におけるチームアプローチの重要性に ついて説明できる。	1 0—	2 —0	3 —0		1 0—	2 —0	3 —0—	4 O
3	サービス担当者会議開催のプロセスに基づき、開催 準備及び会議の進行ができる。	1 0—	2 0	3 —0		1 0—	2 —0	3 —0—	4 0
4	個別サービス計画との整合性を確認することの重要 性について説明できる。	1 0—	2 0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0	3 —0—	4 - 0
⑤	サービス担当者会議に関わる内容の記録の作成ができる。	1 0—	2	3 —0		1 0—	2 0	3 —0—	4 0
6	多職種と、今後の課題に関する確認を実施できる。	1 0—	2 —0	3 —0	 0	1 0—	2 0	_3 _0_	4 0
7	利用者の状態像や運営基準に合わせたサービス担 当者会議の意義について理解した上で、会議の開催 に向けた準備ができる。	1 0—	0		04	0	2		4
8	サービス担当者会議開催理由に合わせた検討の留 意点について説明できる。	1 0—	2	3	- 0	1	2		4

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(振り返り)

	項 目	内容
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	
2	得たことを実践でどのように活かせそうで すか	
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	
4	その他、この科目で感じたことは何ですか	

研修名:実務研修

課目	名: ⑦)-5ケア	マネジメ	ントに必要	要な基礎知識	識及び打	支術「モニ	タリン	グ及で	が評価	_			
受	講番号			受講班					氏名					
			項目	3			受 講	前			受 講	後		ı
1	モニタリン	ングの意義	養と目的に	ついて説明	見できる 。	1	2 0	3 0	4 0	1 0—	2 0	3 —0—	4 —0	•
2			ナービスの 说明できる		果)の検証の	10	2	3	4 0	1	2	3 —0—	4 —0	
3	目標に対評価でき	tする各+ る。	ナービスの	達成度(効	果)について	10	2	3 	<u>4</u>	1	2	3 —0—	4 —0	
4	モニタリンで説明で		の記録作品	或の意味と	重要性につい	10	2	3 	<u>4</u> —0	1 0—	2	3 ()	4 —0	
(5)	居宅サー て説明で		画の再作成	戈を行う方 法	まと技術につい	_	2 —0	3 0_	4 0	1 ()—	2 —0—	3 —0—	4 0	
6						1	2	3 _0_	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
7						1	2 —0—	3 -0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
8						10—	2 —0—	3 _0_	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	•
	×		 己評価とし 選択肢】	、4段階評価 4. できる	西で、数字が大る 3. 概ね		評価、数字: 2. ほと				て記入して 全くできない			_
研	修記			(振り)			2. 10.0	.,,,,	2 0.0					
		項	目				内			:	容			
1)ケアマネ :ことは何		践を高める	t									
2	得たこと すか	を実践で	どのように	活かせそう	で									
3	本科目にいく必要	に関連して があると ^え	て、あなた; きえること!	が更に学ん ま何ですか	で									
4	その他、	この科目	で感じたこ	とは何です	か									

研修名:実務研修

課目	1名: (8	介護支	援専門」	員に求めら	られるマネジ	メント(ラ	チームマ	ネジメン	ント)					
受	:講番号			受講班					氏名					
			項目	1			受 講	前			受 請	後		
1		及び家族 <i>0</i> 目的につい			アプローチの	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0	1 0—	2 —0—	3 —0	_4 0	•
2	チームを 説明でき		各専門性	についての	役割について	1 0——	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0	
3	チームに 明できる		護支援専	門員の役害	川について説	1 0	2 0	3 —0—		1 0—	2 —0—	3 0	4 0	
4	アセスメ る。	ントに基づ	く必要な :	チームの形り	成を実施でき	1 0——	0 <u></u>	_3 0	4 0	1 0—	2 0	3 0	4 0	
⑤	チームに	おける情報	報共有を	実施できる。		1 0——	0 <u></u>	_3 0	4 0	1 0—	2 0	3 0	4 0	
6	円滑なる	チーム運営	を実施で	ぎる。		1 0—	2 —0—	_3 0	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0	
7						1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
8					•	1 0——	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0	•
	>		 己評価とし 【択肢】	、4段階評価 4. できる	iで、数字が大き 3. 概ね			¤が小さい とんどでき			て記入して 全くできない			
研	修記	録シ	ート2 (、振り返	5り)									
		項	目				内			5	容			
1)ケアマネシ ことは何で		浅を高めるが	3									
2	得たこと すか	を実践でと	ごのように	活かせそうで	C									
3				が更に学んでまか	C									
4	その他、	この科目で	で感じたこ	とは何です	か									

研修名:実務研修

課目	名: 9)地域包	括ケアシ	ノステム及	ひ社会資	源								
受	講番号			受講班]		氏名					
			項目	1			受請	萬 前			受 講	後		
1			ステムの構 いて説明		こ取り組みが	^求 1 0—	2 0_	3 —0	4 0	1 0—	2 0	3 —0—	4 —0	•
2	地域包持 て説明で		くテムを構	築する意義	遠と目的につ!	,\ <mark>1</mark>	2 —0	3 0		1 0—	2 —0	3 -0	4 0	
3	利用者(の地域の	社会資源(の調査を実	施できる。	1	2 0	3 —0		1 0—	2 —0—	3 0	4 0	
4	地域包排 門員が見	舌ケアシス 果たすべる	くテムの構造役割にて	類に向けて いて説明で	て介護支援専 できる。	1 0—	2	3 —0		1 0—	2 0	3 —0—	4 0	
⑤			夏、目指することができ		社会資源の整	1 0	2 0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
6						10—	2 0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0	
7						10—	2 0	3 —0	4 0	1 0—	2 0	3 —0—	4 0	
8						1 0—	2 0	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0	•
	×			、4段階評値 4. できる	西で、数字が大 3. 概	さいほど高 ねできる		字が小さい まとんどで			て記入して 全くできない			
研	修記			〔振り〕	反り)									
Г		項	目				P	勺		:	容			
1)ケアマネ :ことは何		践を高める	た									
2	得たこと すか	を実践で	どのように	活かせそう	で									
3	本科目にいく必要	こ関連して があると ^ま	こ、あなた; きえること!	が更に学ん ま何ですか	で									
4	その他、	この科目	で感じたこ	とは何です	-か									

研修名:実務研修

課目	1名: ⑩ケアマネジメントに必要な医	療との連	携及び	多職種協	働の	意義				
受	講番号					氏名				
	項 目			受 講	前			受 講	後	
1	医療との連携の意義と目的について説明	できる。	1 0—	2 0	3 0	4 0	1 0	_2 0	3 0	4 _0
2	医療機関や医療職からの情報収集及び 及び内容について説明できる。	是供の方法	<u>1</u>	2 —0—	3 _0		1	2 —0—	3 0	4 0
3	地域の在宅医療·介護の連携を促進する ついて説明できる。	仕組みに	1	2	3 _0		1	2 —0—	3 0	4 - 0
4	多職種協働の意義について説明できる。		10—	2	3 -0		1 0	2 —0—	3 0	4 —0
(5)	多職種間で情報を共有することの重要性 明できる。	について説	1	2	3 _0_	4 0	1 0	2 —0—	3 —0—	4 —0
6	多職種協働における個人情報を取り扱う。 者のその家族の同意の必要性について訪		1 0—	2	3 _0_	4 0	1 0——	2 —0—	3 0	4 O
7			1 0—	2	3 _0_	4 0	1 0——	2 —0—	3 0	4 O
8		•	1 0—	2 0	3 _0	4 0	1 0—	2 —0	3 _0_	4 0
Г	 ※研修は自己評価とし、4段階評価で 【選択肢】 4. できる	、数字が大き 3. 概ね ⁻		評価、数字7 2. ほと				記入してく くできない		
研	修記録シート2(振り返		<u> </u>	2. 160	700 00	_ 0.0	1	100 00		
- 4	項 目			内						
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるた めに得たことは何ですか									
2	得たことを実践でどのように活かせそうで すか									
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか									
4	その他、この科目で感じたことは何ですか									

研修名:実務研修

課目	图名: ①	ケアマネ	トジメント	トに係る法	去令等0	つ理解									
受	:講番号			受講班						氏名					
			項目	1				受 請	斬			受 講	手後]
1	介護保障	食法の意義	髪と目的に	こついて説	明できる	0	1 0—	2 0	3 0	4 0	1 0—	2 0	3 0		•
2	介護保障 る。	食法に遵守	予したケア	マネジメン	小を実施	でき	1	2 —0—	3 0		1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
3	利用者を	取り巻く討	者制度に	ついて説明	月できる。		1	2 —0—	3 —0—	4 —0	1 ()—	2 —0—	3 —0—	4 —0	
4	実践上の)法令遵守	子について	て説明でき	る。		10	2 —()—	3 —0		1 ()—	2 	3 —0	4 —0	
⑤	介護報酬説明でき		係告示	や通知等の	の概要に	ついて	10	2 0	3 —0	4 0	1 ()—	2 —0	3 —0	4 —0	
6							1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	1 ()—	2 —0—	3 —0—	4 —0	
7							1 0—	2 —0—	3 —0	4 —0	1 ()—	2 —0—	3 —0—	4 —0	
8						•	1 0—	2 —0—	3 —0—	0 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	•
	*		己評価とし 選択肢】	、4段階評· 4. できる		字が大き 3. 概ね ⁻			字が小さい とんどで			て記入して 全くできない			_
研	修記			(振り								<u> </u>			
		項	目					Þ	3			容			
1	あなたの めに得た	ケアマネシ ことは何で	ー―― ジメント実 ごすか	践を高める	るた										
2	得たこと すか	—— を実践でと	 ごのように	活かせそう	うで										
3	本科目にいく必要	三関連して があると考	、あなた; ;えること!	が更に学ん は何ですか	いでい										
4	その他、	この科目で	で感じたこ	ことは何です	すか										

研修名:実務研修

課目	3名:(12)美智才	リエンテージ	/ヨン 										
受	講番号	Z	講班					氏名					
		項目				受 講	前			受 講	後		
1	研修における実習 きる。	の位置づけと	目的につい	て説明で	1	2 —0	3 _0	4 0	1 0	2 —0	3 0	4 - 0	•
2	実習協力者に実習	習内容につい	て説明でき	る。	1 0——		3 —0—		1 0——	2 —0—	3 —0—		
3	実習における心構	えについて説	明できる。		1 0	_0	3 0		1 0——		3 0		
4	実習に取り組む姿				1 0——	_0	3 —0—		1 0——		3 —0—		
(5)	個人情報保護をは 備を実施できる。				1 0——	_0	3 —0—	4 0	1 0——	2 —0—	3 0	4 —0	
6	実習協力者の状況性について説明で	兄に合わせて きる。	実習を行う	ことの必要	1 0——	2 —0—	3 0	4 0	1 0—	2 —0—	3 	4 0	
7					1 0——		3 —0—	4 0	1 0——	2 —0—	3 0	4 0	
8				•	1 0		3 —0—	4 0	1 0	2 —0—	3 0	4 0	•
		己評価とし、4月 選択肢】 4.	没階評価で、 できる	数字が大き 3. 概ねつ			!が小さい とんどでき			こ記入して とくできない			_
研	ff修記録シ	ート2(扱	長り返り しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょう しょう	J)									
	項	目				内			7	Ÿ			
1	あなたのケアマネ! めに得たことは何 ⁻		高めるた										
2	得たことを実践でなすか	どのように活か	せそうで										
3	本科目に関連していく必要があると考												
4	その他、この科目	 で感じたことは	一一:何ですか										

研修名:実務研修

課目	1名: ①)ケアマネジ	マントの基礎	技術に関する乳	官習								
受	:講番号		受講班					氏名					
			 項 目				<u></u> 前			受 請	後		
1		察した結果を		っての留意点を路 報告書の作成を		0		 0	1 ()—	2	3 —()—	- 4	•
2	ケアマネ 験した結	ジメントプロセン 果を盛り込ん	スについて、実 だ実習報告書	習指導者のもと、(を作成できる。	[‡] 1 0—	2 —0	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 	4 0	
3		生活環境を観察 対施できる。	察した結果を盛	り込んだ実習報告	1 0—		3 —0	4 0	1 ()—	2 —0—	3 	4 —0	
4	実習協力	力者の状況に行	合わせて実習を	実施できる。	1 0	2	3 —0		1 0—	2 —0	3 0	4 —0	
5	給付管理	里業務の流れ	を述べることが [.]	できる。	1 0—	2 0	3 —0		1 0—	2 —0—	3 —0	4 —0	
6					1 0—	2 0	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0	4 0	
7					1 0—	2 0_	3 —0	4 0	1 0—	2 0	3 —0	4 0	
8				•	1 0—	2 0	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	•
		※研修は自己 【選択		評価で、数字が大き る 3. 概ね			が小さい! :んどでき:			記入してく くできない	ださい。		
研	修記	録シー	ト2(振り	返り)									
		項目				内			容	!			
1)ケアマネジメン :ことは何です;	小実践を高める か	6た									
2	得たこと すか	を実践でどの。	ように活かせそう	5°C									
3			なたが更に学ん 6ことは何ですか										
4	その他、	この科目で感	じたことは何です	すか									

研修名:実務研修

課目	名: 14	実習振り	り返り											
受	講番号			受講班					氏名					
			項目	1			受 講	前			受 請	美後		
1	今後の学	学習課題に	ついて訪	説明できる。		1 0—	2 0	3 0_	4 0	1 0—	2 0	3 —0—	4 0	•
2	ケアマネ 宅サ <i>ー</i> ヒ	ジメントプロ ごス計画に	1セスに浴 ついて説	うって、実習 明できる。	で作成した居	10—	2	3	4 0	1 0—	2 —0	3	4 — 0	
3	実習を選	通じて倫理	課題につ	いて説明で	きる。	1	2	3 —0	<u>4</u>	1 0—	2	3	4 —0	
4	受講者につい	間相互の記 へて説明でる	し合いに きる。	おいて、不	足している知	1 0—	2 —0—	3 —0	<u>4</u> —0	1 ()—	2 —0—	3	4 —0	
5						10—	2 —0	3 —0	4 —0	1 ()—	2 —0—	3	4 — 0	
6						10—	2	3	4 0	1 0—	2 —0—	3	4 0	
7						1 0—	2 —0	3 —0	4 —0	1 ()—	2 —0—	3	-4 0	
8					•	1 0-	2 —0—	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0	-4 0	•
	×			、4段階評価 4. できる	iで、数字が大き 3. 概ね			ネが小さい とんどで			て記入して 全くできない			_
研	修記			【振り』				2.02			<u> </u>			
		項	目				内]			容			
1)ケアマネジ ことは何で		践を高めるが	3									
2	得たこと すか	を実践でど	かように	活かせそう	C									
3				が更に学ん ⁻ は何ですか	C									
4	その他、	この科目で	感じたこ	とは何です	か									

研修名:実務研修

課目	名: ①5)-1ケアマネ	トジメン	の展開	「基礎理解	J								
受	講番号		Š	受講班					氏名					
		項	頁 目				受 講	前			受 講	後]
1		ジメントを必要 いて説明でき		高齢者を取	ひ巻く背景や	1	2 —0	3 0	-4 -0	1	2 —0—	3 —0	4 0	
2		こ見られる生ま ヽて説明できる		、生活環境	竟等の関係	1 0—	2 —0—	3 —0		1 0—	2 0	3 —0—	4 0	
3		ービス計画作り うたってのポイ				1 0	0	3 —0		1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
4	高齢者の できる。	の自己決定を	尊重した	ケアマネシ	ジメントを実施	1	0	3 —0		1	2 0	3 —0—	4 0	
⑤		こ多い代表的 学ぶことの有効				1 0—	_0	3 —0		1	2 —0	3 —0—	4 0	
6						1 0—	2 —0—	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0	4 0	
7						1 0—	2 —0—	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	
8					•	1	2 —0	3 —0	-4 -0	1	2 —0—	3 —0	-4 0	•
	×	《研修は自己評 【選択!		段階評価 . できる	で、数字が大き 3. 概ね			こが小さい とんどでき			て記入して 全くできない			_
研	修記	録シー				<u> </u>	2. 100	erre co	_ 0.0					
			1				内]		:	容			
1)ケアマネジメ: :ことは何です		を高めるた										
2	得たこと すか	を実践でどの。	ように活っ	かせそうて	5									
3	本科目に	こ関連して、あ があると考える	らなたが ることは何	更に学んで 可ですか	5									
4	その他、	この科目で感	なじたこと!	は何です <i>た</i>)\									

研修名:実務研修

課目名:〔	⑤−2ケアマネジン	ソントの展開	「脳血管疾	患に関	する事例	列」						
受講番号		受講班					氏名					
	項	目			受 講	前			受 講	美後		
① 脳血管	障害の特徴につい	て説明できる。		1	2 —0	3 —0—	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 —0	•
② 脳血管できる。	障害における生活	章害の特徴に	ついて説明	1	2	3	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 —0	
	障害における療養. ついて説明できる。	上の留意点や	起こりやすい	1	2	3	4 0	1	2 —()	3 —0—	4 —0	
	障害における環境(む)の必要性につい			1 0—		3 0	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 —0	
	障害におけるリハビ 明できる。	リテーションの	必要性につ	10	2 —0—	3 0	4 0	1 ()	2 —0—	3 0_	4 —0	
	をはじめとする多職 て説明できる。	種との連携・技	茘働のポイン	1	2 —0—	3 _0	4 —0	1	2 —0—	3 —()	4 —0	
	障害の特性に応じ 法を実施できる。	たケアマネジメ	ントの具体	1	2	3	4 —0	1 0—	2 —0—	3 —()	4 0	
8 継続学とができ	習の必要性と、具体	本的な学習方	法を述べるこ	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	•
;	※研修は自己評価と 【選択肢】	し、4段階評価 ⁻ 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね ⁻			!が小さい とんどでき			て記入して 全くできない			
研修訂	記録シート2			<u> </u>	2. 160	_/// (6	2,90.	1	EVCCAV			
	項 目				内			7	 容			
	Dケアマネジメント実 たことは何ですか	践を高めるた										
② 得たこと	さを実践でどのように	□活かせそうで										
	に関連して、あなた 見があると考えること											
④ その他、	この科目で感じた	ことは何ですか	\									

研化	多名: <u>実務研修</u>										
課目	1名: 15-3ケアマネジメントの展開「認	知症に	関する	事例」							
受	講番号 受講班					氏名					
	項目			受 講	前			受 講	後		
1	4つの代表的な認知症について、その特徴とポイントを述べることができる。	:ケアの	1	2 —0—	3 0	4 0	1	2 —0—	3 0	4 —0	•
2	認知症における療養上の留意点・倫理的なび、起こりやすい課題について説明できる。	対応及	10—	2	3		1	2	3	4 —0	
3	独居で認知症の要介護者等におけるアプロ 点や方法について説明できる。		1 0——	2	3	4 0	1 0—	2 —0—	3	4 —0	
4	認知症の要介護者と同居している家族に対 や地域への配慮と協働の必要性について訪 る。	する支援 明でき	1 0	2	3		1	2	3	4 —0	
⑤	認知症ケアの考え方に基づき、ケアマネジメ展開方法のポイント(倫理的な対応、医療職とする多職種連携、行動・心理症状(BPSD)調整へのアプローチ等)について説明できる	まままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ま	1 0	2	3	0 0	1 0—	2 —0	3 —0		
6	認知症の特性に応じたポイントを踏まえてケ メントプロセスを実施できる。	アマネジ	1 0—	2 —0—	3	4 0	1	2	3	_4 0	
7	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を とができる。	述べるこ	1 0	2	3	4 —0	1 0—	2	3	-4 0	
8		•	1 0	2	3	-4 0	1 0—	2 —0—	3	4 —0	•
	※研修は自己評価とし、4段階評価で、数 【選択肢】 4. できる	数字が大き 3. 概ね ⁻			『が小さい とんどでき			て記入して [。] 全くできない			
研	修記録シート2(振り返り			2. 10.	2,02 (2	0.0		2 (2 2 3 3			
	項目			内			7	 容			
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるた めに得たことは何ですか										
2	得たことを実践でどのように活かせそうで すか										
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか										
4	その他、この科目で感じたことは何ですか										

		, .												
研化	<u> </u>	実務研修												
課目	1名: ①	5-4ケア	マネジメ	ントの展開	乳筋骨格系	疾患及	び廃用組	定候群	半に関う	する事	例」			
277 544 377 FD														
受	講番号			受講班					氏名					
			項]			受 講	前			受 請	も後		1
1)	肋育格:	糸の矢恵(り 建 類 、 原	マロ、症状、	生店をする上 こついて説明で	1	2	3	4	1	2	3	4	
\bigcirc	きる。	5人の 7月	力:以普力	本で付扱い		Ō	_ō_	_Ŏ_	Ō	Ō—	ō_	ŏ	ō	•
2)障害及び予	1	2	3	4	1	2	3	4	
		方法につ				0	_0_	_0_	0	0—	0_	_0_	—0	
3			廃用症候	群の予防や	改善方法につ		2	3	4	1	2	3	4	
	- 200	月できる。				0	_0_	_0_	0	0_	0	_0_	_0_	
4				群における	療養上の留意	1	2	3	4	1	2	3	4	
	****	て説明で		T24 L. 1 7 1		0	0	_0_	0_	0	0	0	0_	
(5)					リハビリテーショ 活用方法につ	Ť	2	3	4	1	2	3	4	
٥	⑤ ンや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法 いて説明できる。				1717772100	0—	_0_	- 0-	—0	0—	—0—	_0_	—0	
<u>6</u>	筋骨格	系疾患や	廃用症候	群の特性に	応じたケアマ	1	2	3	4	1	2	3	4	
6	るジメントの具体的な方法を実施できる。					Ō	_Ō	_Ŏ_	Ō	Ō—	_ <u>ō</u> _	ŏ	Õ	
(7)	※続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べるこ					1	2	3	4	1	2	3	4	
<i>(</i>)	とができ	る。				0—	_0_	_Ŏ_	<u></u>	0—	_0_	<u> </u>	<u></u> 0	
(8)						1	2	3	4	1	2	3	4	
•					•	0	_0_	_0_	0	0—	0	0	<u> </u>	•
	}	※研修は自	己評価とし	、4段階評值	五で、数字が大き	いほど高				評価とし	て記入して	ください。		
			選択肢】	4. できる	3. 概ね	できる	2. ほと	こんどで	きない	1.	全くできない	, \		
研	F修訂	記録シ	ート2	(振り)	亙り)									
		項	<u> </u>				内				 容			
(1)				践を高める	た									
	めに得れ	ことは何	ですか											
2		き実践で	どのように	活かせそう	で									
0	すか													
(3)				が更に学ん	で									
	いく必要	: かめると ^す	うえること	は何ですか										
4	その他、	この科目	で感じたこ	とは何です	か									
Ī														

研修名:実務研修

課目	∃名: ①5)-6ケアマネ	ジメントの展開	乳「看取りに関	貝する 真	事例」						
受	·講番号		受講班					氏名				
		項	Į		受 講	前			受 講	後		
1	勢につい	て説明できる			1	2 —0	3 —0	4 0	1	2 —0—	3 —0	4 0
2	職をはじ	関する各種サ めとする多職 のポイントにつ	1 0—	2 —0	3 _0	4 0	1	2 —0	3 0	4 0		
3	看取りに	向けた利用者 こついて説明で	1 0—	2 0	3 0	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 0		
4		ケースについ [*] すい課題につい	10—		3 _0_	4 0	1 0—	2 —0	3 —0	4 0		
⑤	看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方 法を実施できる。						3 _0_	4 —0	1 0—	2 —0	3 0	4 0
6	継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。					2 —0	3 _0	-4 0	1	2 —0	3 0	4 0
7					1	2 —0	3 _0	-4 0	1 0—	2 —0	3 0	4 0
8				•	1	2 —0—	3 _0	-4 0	1 0—	2 —0	3 —0	4 0 ●
	×	《研修は自己評 【選択服	価とし、4段階評値 支】 4. できる	西で、数字が大き 3. 概ね [:]			が小さい こんどでき			て記入して とくできない		
矽	修記		▶2(振り;									
		項目	, = ,			内			7			
1		・ケアマネジメン :ことは何です <i>፣</i>	小実践を高める か	た								
2	得たこと すか	を実践でどの。	ように活かせそう	で								
3			なたが更に学ん ることは何ですか	で								
4	その他、	この科目で感	じたことは何です	か								

4 その他、この科目で感じたことは何ですか

研修名:実務研修													
課目	課目名: ⑤-5ケアマネジメントの展開「内蔵の機能不全(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等)に関する事例」												
受	講番号				氏名								
	項目			受 講	前			受 講	後]		
1	血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患	内臓の機能不全に係る各疾患・症候群(糖尿病、高 血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、 肝臓病)の種類、原因、症状について説明できる。						0	3	 0	ŀ		
2	内臓の機能不全等の生活をする上での障防・改善方法について説明できる。	害及び予	1 0—	2 0	3 —0		1 0—	2 —0	3 _0	_4 0			
3	内臓の機能不全等における療養上の留意 て説明できる。	1 0—	<u>2</u>	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0				
4	内臓の機能不全等における生活習慣を改めの方法について説明できる。	1 0—	2 0	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	-4 0				
(5)	内臓の機能不全等の特性に応じたケアマス 具体的な方法を実施できる。	1	2	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0				
6	継続学習の必要性と、具体的な学習方法 とができる。	1 0	2	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0				
7			1 0	2	3 —0	4 —0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 —0			
8		•	1 0	2	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 —0	l,		
	※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない												
研	F修記録シート2(振り返り	J)											
	項 目			内			3	容					
1	あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか												
2	得たことを実践でどのように活かせそうで すか												
3	本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか												

研修名:実務研修

課目	1名: ①	アセス.	メント及で	が居宅サ-	-ビス計画等	等作成の	総合演	習					
受	講番号			受講班					氏名				
	ī		項]			受 講	前			受 講	後	
1	事例に原	芯じたケア	マネジメン	小について	説明できる。	1 0—	2 0	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 0	4 0
2	ケアマネ る。	ジメントフ	゚ロセスごと	の課題につ	いて説明でき	1 0	2 0	3 —0—		1 0—	2 —0—	3 0	4 0
3	講評を受	受け、今後	後の自己認	果題の設定 を	を実施できる。	1 0	_0	3 0_		1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0
4	自己の記	課題に応し	た解決領	きについて訪	锐明できる。	1	_0_	3 —0		1 0—	2 —0—	3 —0	4 - 0
⑤		基にサーヒ 疑的に実力		香会議、モニ	タリング場面	1	0	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 - 0
6						10—	2	3 —0	4 0	1	2 —0—	3 —0—	4 -0
7						1 0—	2 —0—	3 —0	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0
8						1 0—	2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 —0—	3 —0—	4 -0
	>		 己評価とし 異択肢】	人、4段階評価 4. できる	西で、数字が大 [:] 3. 概ね			が小さい こんどで			て記入して 全くできない		
研	修訂		C 17 (12)(2	(振り)			2. 1010						
		項	目				内				 容		
1)ケアマネ とことは何		践を高める	t								
2	得たこと すか	を実践で	どのように	活かせそう	で								
3	本科目にいく必要	こ関連して があると	て、あなた: 考えること	が更に学ん は何ですか	で								
4	その他、	この科目	で感じたこ	ことは何です	か								

研修名:実務研修

課目	名: ①	研修全	体を振り	返っての意	意見交換、記	講評及7	ゾネットワ	フーク						
受	講番号			受講班				氏名						
項目							受 講	前			受 講	後		
1	受講を通しての自らの今後の学習課題・目標の設定 を実施できる。						2 —0—	3 _0_	4 0	1 0—	2 0	3 —0—	4 —0	•
2	研修を通じ、自分の活動意欲の向上を実施できる。						2 —0—	3 0		1 0—	2 0	3 0	4 —0	
3	る。			メントプロセス		1 0——		3 0	0 0	1 0—	2 0	3 	4 0	
4	自己の介護支援専門員としての活動の準備を実施できる。							3 0	4 0	1 0—	2 0	3 0	4 —0	
⑤	受講者間のネットワークの構築を実施できる。						_0 0	3 —0—	4 0	1 0—	2 0	3 0	4 —0	
6							2 —0—	3 —0—	4 0	1 0—	2 0	3 0	_4 _0	
7							2 —0—	3 0	4 0	1 0—	2 0	3 0	_ 4	
8					•	1 0——	2 —0—	3 0	4 0	1 0—	2 0	3 0	_ 4 _0	•
	>>		己評価とし 選択肢】	、4段階評価 4. できる	で、数字が大き 3. 概ね ⁻			が小さい こんどでき			て記入して			\neg
研	修記	録シ	ート2 (、振り返	[り]									
		項	目				内			3	容			
1)ケアマネ? とことは何で		浅を高めるた										
2	得たこと すか	を実践で	どのように	活かせそうて	5									
3	本科目にいく必要	こ関連して	, あなただ きえることに	が更に学んて は何ですか	5									
4	その他、	この科目 ⁻	で感じたこ	とは何ですカ)\									